

平成二十八年度入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。問一は表面に、問二は裏面に解答すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。なお、問題文は一九九二年に書かれたものであるため、現在とは社会や経済状況が異なっているが、設問の趣旨には影響しない。

問一 経済成長を追求することの問題について、文章の内容にもとづいて要約しなさい。(四〇〇字以上、六〇〇字以内)

問二 どのようにすれば経済成長と環境保全とを両立できるか、あなた自身の考えを論じなさい。(四〇〇字以上、六〇〇字以内)

非公開

非公開

非公開

非公開

(宮本憲一、『環境と開発』、岩波書店、一九九二年、二〇七ページ、抜粋・一部改変)

注釈

¹ 新興工業経済地域。輸出指向工業化を推進して持続的な経済成長を示した地域。韓国、台湾、香港、シンガポールなど。

² 四日市市塩浜・磯津地区周辺で、石油コンビナートから大気中に排出された硫黄酸化物に起因して発生。一九七二年公害病認定。

平成二十八年年度入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

経済成長を盲目的に追求すれば自然環境が損なわれ、GNPでは計測されることのない矛盾点を露呈することになる。問一は、このような経済成長のもつ負の側面をテーマとした出題文を正しく読み取る読解力を求めており、本学科のアドミッション・ポリシーである①人間社会や社会科学への深い関心の有無を判断することを目的としている。問二では、経済成長と環境との関係を適切に理解した上で、どのようにすれば両者を両立させることができるか自分自身で考えて論理を展開することを求めることにより、本学科のアドミッション・ポリシーである②柔軟かつ総合的な思考力と③主体的に学ぶ意欲の有無を問うことを意図している。